

大橋意見（2018.2.2 第2回函館市福祉政策推進会議）

アンケートは ボランティア・助け合いが中心になっているが
地域福祉の範囲はもっと広い

- 偏見・差別の解消、虐待防止、権利擁護
- 介護保険・高齢者向けサービス、障がい者サービス、子育て支援サービス等以外の暮らしの支援
(高齢者や障がい者等の暮らしはサービスだけでなりたっていない、交通、安全、買物等)

加えて、最近、加わったサービス等の評価をアンケートで合わせて行うべき

- 函館市成年後見センター（社会福祉協議会）
- 生活困窮者自立支援サービス（保健福祉部生活支援第1課）
- 育児・介護休業法の改正
- 障害者差別解消法への対応

ただし、似たような調査が行われているものを除く

下線部が類似部分 つまり、高齢者の地域活動への参加、近所の助け合い、相談先等はある

下二重線部分は生活困窮者自立支援サービスに関する部分 つまり、子どもの貧困についてはある

□ 函館市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 2016年11月

対象：要介護以外の高齢者 配布数約8000人、回収数約6400人、回収率約80%

項目（アンケートの問の順）：家族構成、介護等の状況、家計の状況、運動機能（階段、立ち上がり、歩行、転倒、外出頻度、外出時の移動手段等）、身長・体重、食事（むせる、口の渇き、歯磨き、歯の本数等）、もの忘れ、IADL（公共交通利用、買物、食事の準備、家事、請求書の支払い、預貯金の出し入れ）、趣味・生きがい、地域活動への参加と参加意向・参加しない理由（ボランティア、スポーツ、趣味、学習・教養、老人クラブ、町内会・自治会、収入のある仕事）、困った時に相談する人・逆にしてあげること、困った時の相談先、家族や友人との交流、健康状態、幸福度、うつ状態、飲酒・タバコ、治療中の病気、健康教室や介護予防への関心、将来への不安、地域包括支援センターの認知度

□ 函館市 障がい児・者実態調査 2015年7月

対象：障がい児・者（身体、知的、精神、難病） 配布数約4000人、回収数約1500人、回収率約40%

項目：障がい児・者の性別、年代、障がいの種別・状況、ADL・IADL、家族構成、住まい、日中すごしている場所・満足度、外出頻度・外出手段・外出で困っていること、余暇の過ごし方・ボランティア利用、ボランティア活動への参加、相談先、仕事の頻度・仕事への希望、サービス利用・満足度、介護者の健康状態・仕事、介護者が困っていること・相談先等

障害者差別解消法に関する項目があるが、施行前（2016年4月）の調査である

※他に、函館市障がい者計画策定推進委員会が行われており、アンケート調査結果が議題（昨年9月）に出ているが公表されていない

□ 函館市 子どもの生活実態調査 (2017年8~9月)

対象：5歳児・小5・中2・高2保護者それぞれ約1000人、中2・高2それぞれ約1000人、計7000人配布

回収数 保護者約2400人、子ども約1900人、回収率60%

項目：保護者向け 健康状態、就労状況、収入、学歴、暮らし向き、制度の利用状況等

子ども向け 健康状態、生活習慣、学習、人とのつながり等

□ 函館市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (2013年10月)

対象：就学前児童保護者5000人、小学生保護者2000人、中学生保護者1000人、小学生1000人、

中学生1000人、15~19歳1000人、20~49歳1000人、ひとり親家庭1000人、合計13000人、

回収数約6000人、回収率50%

項目：(就学前児童保護者用) 居住地、子どもの年齢・人数、回答者の続柄、父母の就労状況、幼稚園・保育園

等のサービスの利用状況・利用希望、子育て支援事業の利用状況・利用希望、放課後の過ごし方、

育児休業の取得状況と職場復帰、男女の家事の役割分担

(ひとり親家庭保護者用)：居住地、住まい、家族構成、ひとり親になった理由、養育費の取り決め、就労

状況、親族からの経済的援助、家計の状況、保育園・幼稚園等のサービスの利用状況、学童保育

等の利用状況

□ 函館市 男女共同参画に関する市民・事業者意識調査 (2016年8月)

対象：(市民) 20歳以上 男性1000人、女性1000人、回収数男性約300人、女性約400人、回収率40%

(事業者) 300社 回収数約120社、回収率40%

項目：(市民) 男女の地位は平等になっていると思うか、男女の役割分担はどうすべきだと思うか、DV・ハ

ラスメントの経験、ワークライフバランスができていると思うかとその理由、女性が働き続ける

ために必要なサービス

(事業者) 女性従業員の仕事内容の考え方、女性従業員が働き続けるための取り組み、育児や介護休業制

度、ハラスメント防止

育児・介護休業法改正に関する項目があるが、施行(2017年10月)前の調査である。

提案

アンケートの項目 (案)

函館市内の状況についてお尋ねします。

【偏見・差別】

- 障がい者に対する偏見、差別が残っていると感じますか
行政、福祉・医療、物販店・飲食店、公共交通、学校、雇用・仕事、銀行、不動産、娯楽施設、一般市民
- 見守りや介護が必要な高齢者に対する偏見、差別が残っていると感じますか
(介護家族の場合は、見守りや介護が必要な高齢者と一緒だと利用しにくいと思ったり、介護中であると親切ではないと感じますか)
行政、福祉・医療、物販店・飲食店、公共交通、学校、雇用・仕事、銀行、不動産、娯楽施設、一般市民
- 子ども連れだと利用しにくいと思ったり、子育て中であると親切ではないと感じますか
行政、福祉・医療、物販店・飲食店、公共交通、学校、雇用・仕事、銀行、不動産、娯楽施設、一般市民
- 障がい者、見守りや介護が必要な高齢者、介護家族、子育て中の方にお尋ねします
(自由記入) 障がい、介護、出産・育児、介護や見守りが必要な高齢者や子ども連れを理由として、嫌な思いをしたこと、対応が良かったこと、配慮や工夫をして欲しいこと

【虐待】

- 子どもに対する虐待は、十分に防止できていると思いますか
- 障がい者に対する虐待は、十分に防止できていると思いますか
- 高齢者に対する虐待は、十分に防止できていると思いますか

お住いの地域についてお尋ねします。

- どのような生活課題があると思いますか
問14 (5頁)
- 生活課題は、どうすれば解決できると思いますか。お住いの地域の地域活動(町会、PTA、老人クラブ、趣味・スポーツのサークル、ボランティア活動等)や隣近所との助け合いで、何ができると思うか、具体的にお書きください
(自由記入)

あなたについてお尋ねします。

【成年後見センター】

- 函館市成年後見センターを知っていますか
- 成年後見制度を知っていますか
- 市民後見人を知っていますか

【生活困窮者自立支援】

- 函館市役所にある生活困窮者相談窓口を知っていますか
- はこだて若者サポートステーション(サポステ)を知っていますか

- 困っていることはありませんか
 - ・生活が苦しいが、どこへ相談したら良いかわからない
 - ・働きたいけれど、なかなか仕事が見つからない
 - ・働いた経験がなく、社会へ出るのが不安
 - ・家族が引きこもっていて、困っている
 - ・困っている問題が多すぎて、どこに相談したらよいかわからない

【回答者基本属性】

- 性別
- 年齢
- 家族構成（子どもがいれば年齢層、介護や見守りが必要な人がいれば年代と要介護度）
- 障がい者は障がい種別、他にニート・引きこもり、高校中退者等であてはまるもの
- 町内会役員、民生・児童委員、福祉・医療関係者であてはまるもの

アンケートの方法（修正案）

（単位：人）

配布先	配布方法	配布数	集計数	回収率
高齢者日常生活圏域 10 圏域× 150 人（20～40 歳無作為抽出）	郵送	1,000	400	40%
高齢者日常生活圏域 10 圏域× 150 人（40～60 歳無作為抽出）	郵送	1,000	400	
小 計		2,000	800	
60 歳以上 市内各町内会（183）×5	配布・回収	915	732	80%
町内会役員 市内各町内会（183）×5	配布・回収	915	732	
障がい者	配布・回収	200	160	
介護家族	配布・回収	200	160	
小 計		2,230	1,784	
合 計		4,230	2,584	